

「即時原発ゼロ」を求める署名

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

【請願主旨】

福島第一原子力発電所の事故は、いまだに収束していません。15万人余の県民が避難生活をよぎなくされ、放射能被害は国民に甚大な影響を与え続けています。

政府は、原発再稼働や新增設、原発輸出を公言し、前政権の「2030年代原発稼働ゼロ」というきわめて不十分な方針すら白紙に戻すとしています。しかし、「国民の過半は、原発に依存しない社会を望んでいる」という政府も認めた国民の認識は、政権が交代したことで変わるものではありません。原発推進政策は、「原発ゼロの日本」を求める国民多数の声に真っ向からそむくものです。

政府は、原子力規制委員会が7月にも制定する「新安全基準」をテコに、再稼働を強行しようとしています。しかし、「新安全基準」は、福島原発事故の原因が究明されていないもとで、小手先の対策をならべたものにすぎず、地震対策も、原発の真下に活断層が走っていても、断層が地表に現れていなければ設置を認めるという骨抜きの内容です。そもそも福島原発事故のような事故を想定しながら、「世界最高水準の安全」といって再稼働することなど許されません。

「安全な原発」などありえません。ただちに「原発ゼロの日本」を実現することが政治の責任です。以上をふまえて、私たちは、原発の再稼働を断念し、すべての原発からただちに撤退する決断を行うことを要求します。

【請願事項】

- 一、日本政府がすべての原発からただちに撤退する決断を行うこと。
- 一、原発の再稼働は行わないこと。

氏名	住所

日本共産党

【お願い】 この署名は、最寄りの共産党事務所にお届けいただくか、下記にファックスしていただくようお願いいたします。日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 Fax 06-6764-9115

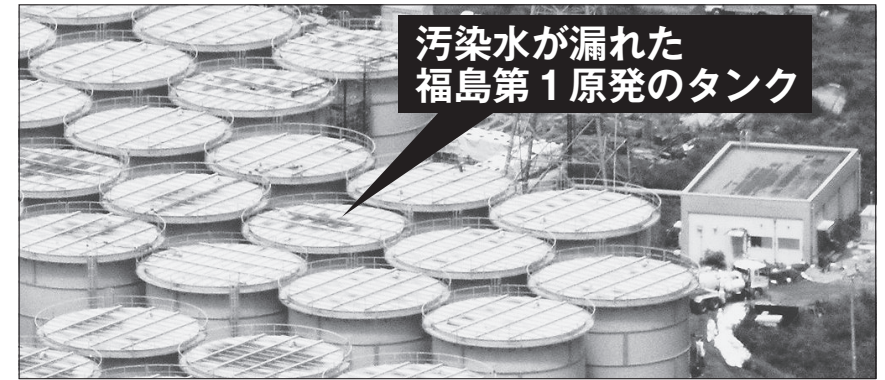
折り目

「ありえない」
怒り・驚き

福島の漁民

放射能汚染水「コントロールされている」

安倍首相の東京オリンピック招致演説



汚染水が漏れた福島第1原発のタンク

福島第1原発の汚染水貯留タンク群（しんぶん赤旗）8月28日付

「汚染水の完全ブロックなんてありえない」。安倍首相が五輪の東京招致演説で、福島第1原発の汚染水漏れについて「状況はコントロールされている」「汚染水の影響は完全にブロックされている」とのべたことに対し、福

島県の漁民から驚きと怒りの声が上がっています。港湾内には汚濁拡散防止のための水中カーテンが設置されていますが、外側の海水と行き来がある状態。東京電力も「完全遮断でない」と認めています。

首相発言 国際公約として責任果たせ

政府が1日300トンの海に流出していると試算している福島原発の汚染水。現状は「コントロール」どころか、制御不能の状態。汚染水がどこから、どう漏れ出しているか全容もわかりません。

国際的な場での首相発言は国際公約。「問題ない」というなら、根拠を明らかにして責任を果たすべきです。



近畿民報

発行/日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 2013年9月号外 No.4

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目15番7号USビル2F
Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を發表しました。